

平成 27 年(2015 年)11 月 9 日

保護者のみなさま

豊能町立東ときわ台小学校  
校長 濱野 裕 民

## 平成 27 年度 (2015 年度) 全国学力・学習状況調査の結果について

秋冷の候、保護者のみなさまには、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は、本校教育活動にご理解ご協力をいただき、ありがとうございます。

さて、4 月 21 日に実施しました 6 年の「全国学力・学習状況調査」結果の分析を行いました。学力調査の結果は、国語・算数・理科とも全国平均より上回っており、概ね良好でした。しかし、更なる努力が必要な項目もありました。課題については、校内で共有し、改善に向けて取り組みを進めてまいります。

以下に、今回の結果分析から見えてきた<伸ばしたい点>と<今後の取り組み>をまとめましたので、ご家庭でも話題にさせていただけますよう、よろしくお願い致します。

なお、豊能町教育委員会による町全体の分析結果は、本町のHPにて公表されています。また、全国学力・学習状況調査の問題・調査用紙やその分析結果は、国立教育政策研究所のHPで公表されています。それぞれご覧ください。

### 1. 学力調査の結果より

#### 国語

##### [A問題より]

- ・無回答が少なく、意欲的に問題に取り組むことができた。
- ・説明文の書き方の工夫を読み取ることができた。
- ・漢字については、日々の取り組みの成果が表れ、全問題の正答率が全国平均を上回った。しかし、よく似ている漢字（一部が同じで部首が異なる漢字）の混同が見られた。
- ・文の構成や学習用語の理解が充分でなかった。

##### [B問題より]

- ・文章の内容を的確に押さえながら要旨をまとめて書くことができた。
- ・登場人物の行動をもとにして、場面の移り変わりを捉えることができた。
- ・複数の条件に従って記事を書いたり、自分の考えを書いたりする問題で課題が見られた。
- ・最後まで問題に取り組もうとする姿勢が見られたが、時間の足りない児童がいた。

#### 算数

##### [A問題より]

- ・四則計算はよくできていた。中でも、分数のわり算の正答率が良かった。
- ・前学年までの既習内容はある程度理解しているものの、単元の複合的な問題では、それぞれの性質や特徴を関連させ問題解決することに課題が見られた。
- ・正答率はほぼ全国平均を上回っているが、図形問題（円と二等辺三角形、直方体の展開図等）には、誤答が多かった。

##### [B問題より]

- ・全体的に全国平均を少し上回った。
- ・日常事象に関連した問題では、算数の学びをいかした数学的な考え方が充分ではなかった。
- ・多くの情報（文章、絵や図、グラフ等）を読み取ること、筋道を立てて考え、求め方を言葉や式を用い、理由を記述することに課題が見られた。
- ・5年生で学習した「割合」の問題では、「買い物」の場面での割引後の値段を「もとの量」や「割合」に着目して求めることがうまくできなかった。

#### 理科

- ・「知識」「活用」共に正答率が全国平均を上回っている。
- ・「自然事象についての知識・理解」には若干課題が見られた。

##### [科学的な思考・表現]

- ・振り子時計の進み方を調整する問題で、運動の規則性を応用して解答することができた。
- ・星座や雲の動きを選ぶ問題で、観察記録をもとに考察・分析することに課題が見られた。
- ・実験結果をもとに自分の考えを改善するところまでは至らなかった。

##### [観察・実験の技能]

- ・一定量の水をはかり取るメスシリンダーの適切な扱い方を身につけていた。
- ・星座の動きを捉えるための適切な記録方法についての理解が充分ではなかった。

##### [自然事象についての知識・理解]

- ・水蒸気は水が気体になったものであることをよく理解していた。
- ・メダカの雄雌を見分ける方法が難しかった。

### 国語・算数・理科の結果を踏まえ、<のばしていきたい点>

- ◎学習内容を日常生活の中で活用する力をつける。
- ◎複数の文章や資料から必要な情報を読み取り、論理的に説明する力をつける。
- ◎筋道を立てて、考え方や求め方、理由を式や言葉で表現（書く）する力をつける。

<今後の取り組み> ※算数・国語・理科を中心に全教科にわたって次の点を大切にします。

#### ①基礎力の育成

- ・子どもの主体的な学びを大切にし、意欲的に学ぶ姿勢を育成する。
- ・漢字・基礎計算は、漢字テストや2分間計算等で引き続き定着を図る。
- ・与えられた条件を使って、問題を読んだり解いたりする力をつける。

#### ②応用力の育成

- ・事実・理由を根拠に、自分の意見を書いたりまとめたりする学習を充実させる。
- ・自分の考えをペアやグループ（班）で意見交流する場面を多くつくり、複数の視点から物事を考える力を育てる。
- ・自ら問題を見出し、探究的な活動を通して問題解決する力をつける。
- ・問題全体を見通して、文の構造を読んだり図や表などを手がかりに比較・判断したりする力をつける。

## 2. 学習状況調査の結果より

子どもたちの生活や家庭学習の様子、授業に対する意識を調査したもので、次のような特徴が見られました。

### 《肯定的な意見の多かった項目》

○「1日の読書時間はどれぐらいですか。」「学校図書館・地域の図書館にどれくらい行きますか。」

本校での取り組み（朝読書・うちどく・本のソムリエ・読書感想文・ブックウォークなど）が顕著に反映されたと考えられます。

○「家の人は授業参観や運動会などの行事に来ますか。」

保護者の方々が、学校に高い関心を持っていただいていることがわかります。

○「400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思いますか。」「授業の中で自分の考えを他の人に説明したり、書いたりすることは難しいと思いますか。」「授業で扱うノートには、学習の目標とまとめを書いていたと思いますか。」

これまでの授業の取り組みを通し、自分の思いや考えを文章にする力が備わってきていること、また、学習に目的を持って取り組み、振り返りまでしっかりとできていることがわかります。

○「算数の勉強は大切だと思いますか。」「算数の授業内容はよくわかりますか。」「算数の学習は、将来、社会に出たときに役立つと思いますか。」

少人数担当の教員を中心とした取り組みが、結果に反映されたものと考えます。知識の習得だけでなく、学習した内容に有用性を感じ、前向きに学習に取り組むことができていると思います。

### 《肯定的な意見の少なかった項目》

●「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。」「国語で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか。」

作文や感想文など自分の考えを記述することに関しては進んで取り組みますが、資料分析や条件付きの記述に関しては抵抗感があるようです。国語だけでなく他教科と関連した学習を行い、様々な場面において文章活用力をつけていく必要があると考えます。

●「家で学校の宿題をしますか。」「家で、自分で計画を立てて勉強していますか。」

全国平均よりも10ポイント以上下回っていました。与えられた課題に対しては、ていねいに取り組みますが、自分で課題を決めたり計画を立てたりして学習するという力が弱いようです。中学校へ向けて、自学自習の力を育てていく必要があると考えます。

●「自分には、よいところがあると思いますか。」

自尊感情や自己肯定感は、子どもたちの全ての基盤となるものです。日々の学習活動の中で、成功体験を多く積み、周囲から認められる体験を、より多く重ねていく必要があると考えます。

以上より、次のような<良好な点>と<伸ばしていきたい点>が見えてきました。

#### <良好な点>

- ◎目の前の課題に一生懸命取り組むことができる。
- ◎積極的に読書に取り組むことができる。
- ◎各家庭が学校の教育活動に関心を持っている。

#### <のばしていきたい点>

- ◎自分自身を大切にし、自信を持って生きていこうとする心。
- ◎新聞やニュースなどから社会事象に興味を持つこと。
- ◎自ら課題を見つけ、進んで学習する姿勢。

そこで、①～④を大切に、今後取り組みを進めていきます。

#### <今後の取り組み>

- ① クラスの仲間づくりや異年齢学年交流を通して、「人の役にたった」「人から感謝された」「人から認められた」という自己有用感を高める。
- ② スモールステップで、子どもたちに達成感を味わう体験を多くもうけ、子どもたちのがんばりやよさを積極的に認める。
- ③ 各教科や総合的な学習を絡ませた横断的な学習から、社会事象に目を向ける授業に取り組む。
- ④ 家庭と連携して、自主学習など自ら進んで学習しようとする姿勢を育てる。